

2020年9月11日

報道関係 各位

東京都渋谷区笹塚 1-50-1

ジョンソンコントロールズ株式会社

ジョンソンコントロールズ、初のグリーンボンドを発行 ～調達資金を持続可能な世界の実現に向け投資～

【2020年9月8日 ジョンソンコントロールズインターナショナル(アイルランド、コーク)より発表】

プレスリリース要約:

- 調達資金を「グリーン」ガイドラインを満たすプロジェクトに投資
- 長年の歴史において築き上げたサステナビリティリーダーとして持続可能な未来の実現をけん引

スマートで持続可能な建物向けソリューションのグローバルリーダーであるジョンソンコントロールズ インターナショナル(ニューヨーク証券取引所略号:JCI、以下ジョンソンコントロールズ)は、本日、発行価格6億2,500万ドルで、同社初の10年債グリーンボンドを発行することを発表しました。グリーンボンドの発行により調達された資金はサステナビリティに関連するプロジェクトの支援および同社が設定した2025年のサステナビリティ目標実現のために充てられます。

ジョンソンコントロールズの会長兼最高経営責任者である、ジョージ・オリバーは「当社の製品やサービスがお客様や地域社会の省エネ・省資源化を実現していることから、今回の債券発行に対しても高い関心が寄せられるものと確信しています。グリーンボンドによる資金調達スキームを活用することで、当社のビジョンやバリューの中心にサステナビリティがあることを一層明確に示せると考えています」と述べています。

今回のグリーンボンドの発行は、ジョンソンコントロールズにとってサステナビリティ推進に向けた資金調達プロジェクトの第2弾で、当社は2019年に、米国のシンジケートローン市場において、特定のサステナビリティ指標をシニアリボルビングファシリティ(優先的回転与信枠)と結びつけた初の事業会社の1つです。

ジョンソンコントロールズが調達資金を投じる対象となるグリーンプロジェクトの詳細については、国際資本市場協会(ICMA)が発行するグリーンボンド原則2018とグリーンローン原則2020の両方が規定する4要素に沿って作成された、同社のグリーンファイナンス・フレームワークに記述されています。グリーンプロジェクトは地球環境保護を促進し、国連の持続可能な開発目標(SDGs)実現にもつながります。

対象となるグリーンプロジェクトには、以下のカテゴリーが含まれます：

- 環境効率や循環型経済を採用した製品や生産技術およびプロセス
- グリーンビル
- 公害の防止
- 持続可能な上下水道管理
- 排気ガス抑制によるクリーン交通
- 再生可能エネルギー

ジョンソンコントロールズのグリーンファイナンス・フレームワークは、サステナリティクス社 より第三者認証機関によるオピニオンを取得しています。

ジョンソンコントロールズの2025年サステナビリティ目標には、以下が含まれます。

- 温室効果ガス強度25%削減
- エネルギー強度25%削減
- 水が重要な地域での水使用量の10%削減
- 労働災害25%削減
- 売上の成長率を上回るペースで調達先の多様性を拡大

グリーンボンドの発行にあたっては、ジョンソンコントロールズの子会社であるTyco Fire & Security Finance, S.C.A.が共同発行体となります。本取引は、所定の慣習的取引条件を満たしたうえで、2020年9月11日に完了する見通しです。

本取引において、BofA Securities、ING、Citigroup、US Bancorp、BBVAおよびTD Securitiesが共同でブックランニング・マネージャーを務めて取引を円滑に進めます。また、IMGが単独でグリーン・ストラクチャリング・アドバイザーを務めます。

ジョンソンコントロールズのグリーンファイナンス・フレームワークは、同社ウェブサイトで購入できます。

グリーンボンドの発行は、有効な発行登録書、目論見書および目論見書の補足に基づいて行われます。目論見書の補足および基本目論見書のコピーは、BofA Securities, Inc. (1-800-294-1322)またはING Financial Markets LLC (646-424-8972)で入手可能です。投資家はこれらの書類を、米国証券取引委員会のウェブサイトwww.sec.gov の法定書類開示システム(EDGAR)によって、無料で入手することができます。

本プレスリリースは、債券の販売の申し出または購入の申し出を勧誘するものではなく、当該州もしくはその他の管轄区域において、当該州もしくはその他の管轄区域の証券法の下での登録、または資格を取得する前のかかる申し出や勧誘または販売が違法となる場合に、本債券の販売を行うことはできません。

Johnson Controls International plc Cautionary Statement Regarding Forward-Looking Statements

Johnson Controls International plc has made statements in this communication that are forward-looking and therefore are subject to risks and uncertainties. All statements in this document other than statements of historical fact are, or could be, "forward-looking statements" within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. Words such as "may," "will," "expect," "intend," "estimate," "anticipate," "believe," "should," "forecast," "project" or "plan" and terms of similar meaning are also generally intended to identify forward-looking statements. However, the absence of these words does not mean that a statement is not forward-looking. Johnson Controls cautions that these statements are subject to numerous important risks, uncertainties, assumptions and other factors, some of which are beyond Johnson Controls' control, that could cause actual outcomes to differ materially from those expressed or implied by such forward-looking statements, including, among others, risks related to: Johnson Controls' ability to manage general economic, business and geopolitical conditions, including the impacts of natural disasters, pandemics and outbreaks of contagious diseases and other adverse public health developments, such as the COVID-19 pandemic, any delay or inability of Johnson Controls to realize the expected benefits and synergies of recent portfolio transactions such as the merger with Tyco and the disposition of the Power Solutions business, changes in tax laws (including but not limited to the Tax Cuts and Jobs Act enacted in December 2017), regulations, rates, policies or interpretations, the loss of key senior management, the tax treatment of recent portfolio transactions, significant transaction costs and/or unknown liabilities associated with such transactions, the outcome of actual or potential litigation relating to such transactions, the risk that disruptions from recent transactions will harm Johnson Controls' business, the strength of the U.S. or other economies, changes to laws or policies governing foreign trade, including increased tariffs or trade restrictions, energy and commodity prices, the availability of raw materials and component products, currency exchange rates, maintaining the capacity, reliability and security of our information technology infrastructure, the risk of infringement or expiration of intellectual property rights, work stoppages, union negotiations, labor disputes and other matters associated with the labor force, the outcome of litigation and governmental proceedings and cancellation of or changes to commercial arrangements. A detailed discussion of risks related to Johnson Controls' business is included in the section entitled "Risk Factors" in Johnson Controls' Annual Report on Form 10-K for the 2019 fiscal year filed with the SEC on November 21, 2019, which is available at www.sec.gov. The description of certain of these risks is supplemented in Item 1A of Part II of Johnson Controls' subsequently filed Quarterly Reports on Form 10-Q. Shareholders, potential investors and others should consider these factors in evaluating the forward-looking statements and should not place undue reliance on such statements. The forward-looking statements included in this communication are made only as of the date of this document, unless otherwise specified, and, except as required by law, Johnson Controls assumes no obligation, and disclaims any obligation, to update such statements to reflect events or circumstances occurring after the date of this communication.

ジョンソンコントロールズ インターナショナルについて

ジョンソンコントロールズは、建物のパフォーマンスを最適化するだけでなく安全性を向上し、快適性を高め、最も重要な成果に結びつけることで人々の生活空間や職場、文教施設からエンタメ施設まであらゆる環境を変革しています。このような当社のソリューションはヘルスケア、教育、データセンター、製造など多様な業界に導入されています。130年以上にわたるイノベーションの歴史とともに、全世界 150 カ国以上、10 万 5,000 人のエキスパートで構成されるグローバルチームがお客様のミッション達成をサポートします。当社の業界をリードするビルテクノロジーとソリューションは、Tyco®、York®、Metasys®、Ruskin®、Titus®、Frick®、Penn®、Sabroe®、Simplex®、Ansul®、Grinnell®といったブランド名でも認知され信頼を得ています。

ジョンソンコントロールズ日本法人について

ジョンソンコントロールズ株式会社は、ジョンソンコントロールズ インターナショナル(Johnson Controls International, Plc.)の日本法人(本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長: 吉田 浩)です。建物のライフサイクルを通じた効率化を促進する中央監視、自動制御機器、空調冷熱機器、冷凍機、セキュリティシステムの設計、施工、保守、ならびに運用コンサルティングを提供しています。国内での導入業種はオフィスビル、商業施設、医療機関、教育機関、スポーツ施設、交通機関など多岐にわたり、数多くのランドマーク的存在の建物における施工実績があります。1971年6月設立。国内 45 事業拠点。詳細は www.johnsoncontrols.co.jp をご覧いただくか、Facebook で <https://www.facebook.com/johnsoncontrols.jp/be/> もしくは Twitter で @JCI_jp をフォローしてください。